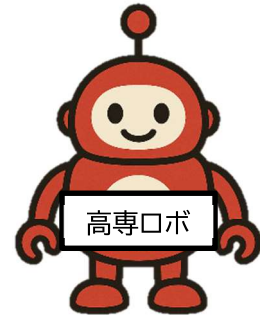


チーム紹介

チーム名 TAKU MACH

こんにちは。私たち「TAKU MACH」はシンガポールで起きている労力不足を解決するため「バイト」をテーマに活動しています。現在、シンガポールでは少子化や移民の抑制により日本よりも深刻な労力不足が発生しています。GCPを通じて、この問題を解決するために新しい画期的なマッチングサービスを提案します。

Cチームは「バイト」がテーマ
リアル！



一日目

私たちは、二日目に実際にフィールドワークをして聞く質問や、場所も決まっていない状況で国内合宿がスタートしました。案だしの段階までしか行っていなかったため活動時間ギリギリまで集中してチーム全員で活動しました。今回の国内合宿での目標、GCP全体での目標、課題を再確認し、質問と場所を決めて解散しました。

二日目

研修開始時間の30分前から作業を開始し、フィールドワークで答えてもらうためのボードや先生、AOTSサポーターの方々とシミュレーションを行った後、ホテルを出発しました。午前中は木場公園でアンケートを実施しました。木場公園の近くで昼食をとり、バスでお台場のダイバーシティ前で午後はアンケートを実施しました。あいにくの天気で、多くのデータを集めることはできませんでした。しかし、アンケート内容が大量のデータを必要としないものであったため、十分な結果を得ることができました。なかなか声がかけれなかった午前に比べ、だいぶ慣れてきているように感じ、チームの成長を感じることができました。

ホテルに戻って来てからは解決策を考え、最終日の発表に向けて役割分担をしました。



三日目

国内合宿最終日は私たちにとってとても忙しい一日となってしまいました。研修開始時刻からそれぞれ黙々とプレゼン作成に取り組みました。順調に進んだメンバーもいましたがなかなか進まず悩んでいるメンバーもいたため、当初の予定より大幅に遅れてしまいました。プレゼン開始時間直前によく完成し、一度だけしか通しで練習できないまま、本番に挑みました。発表ではそれぞれ自分のパートを練習の時よりもうまく説明し、質問にも決してリーダーに頼らず答えることができました。発表が終わった後、メンバーには疲れが見え、それぞれが大変な三日間を過ごしたのだと思いました。



国内合宿を通じて

今回の国内合宿を通じて私たち「TAKU MATCH」のチーム力はとても成長したと思います。

大変な三日間でそれぞれ思うことはあるかもしれませんが、その中で得た経験や学びは大きいです。これから、私たちがビジネスをするシンガポール現地での研修があります。渡航前までの事前準備を十分に行い、無駄の無い活動をしていきたいと思っています。

最終発表では他のチームとは別格の発表、ビジネス提案をしたいと思っています。

提案が楽しみ

